

「コロナ禍で思い知らされた『思い込み』の怖さ ー17世紀のフランシス・ベーコンの錯覚論に学ぶ」

【講師】 京都大学名誉教授
公益社団法人国際経済労働研究所所長 本山 美彦

講師からの言葉

誰かが意図的に虚偽情報を流したり、根拠のない噂話が広まったりする社会構造は、今も昔も変わりません。しかし、SNS時代に入り、人々が虚偽情報に振り回される規模の大きさと速さは、過去のものと比較にならないほどのものになっています。このまま事態を放置すれば、過去幾たびもあった民族抹殺の悲劇が起りかねません。最近の米国のMITの調査と17世紀英国の哲学者であるフランシス・ベーコンの説を比較しながら「虚偽情報」がなぜ広範囲に生まれるのかを見ていきます。ちなみに現在の「アイドル」という用語は、ベーコンの時代では「思い込み」という意味でした。

日時 11月16日(火) 午後6時30分から午後8時30分
会場 エル・おおさか南館5階 南ホール
受講料 無料
定員 100名(定員になり次第締め切ります)
申込方法 下記申込書にご記入の上、FAX、メール、または
エル・おおさか本館1階受付へお申込みください。
主催及び 一般財団法人大阪労働協会 事業部
申込先 〒540-0031 大阪府中央区北浜東3-14
TEL:06-6942-0001 FAX:06-6942-1933
E-Mail:ork@l-osaka.or.jp



《受講上の注意事項》

- マスクの着用、および手指消毒などをしてください。
- 発熱や咳などの症状がある方は、受講をお控えください。
- エル・おおさか内掲示のQRコードから『大阪コロナ追跡システム』に登録してください。

令和3年度 大阪労働大学講座 特別講座

「コロナ禍で思い知らされた『思い込み』の怖さー17世紀のフランシス・ベーコンの錯覚論に学ぶ」
受講申込書

ふりがな			
お名前		TEL	()
メールアドレス		@	